

# ツ登場 を販売

## 期で年末イベント

8月から同館を運営する  
治見陶磁器卸商業協同組  
(多陶商)が、地元の人  
来館機会を増やそうと催  
た。

イベントでは、今が旬  
リンゴや特産品の「市田  
「寒干しそば」のほ

か、市田柿をブラ  
ンデーに漬け込み  
チョコレートでコ  
ーディングした  
「市田柿チョコブ  
ランデー」などの  
スイーツも販売さ  
れた。

多くの地元住民が買い物に訪れた  
多陶商の安藤英  
利たじみ創造館担  
当理事は「今後も  
さまざまイベント  
トを企画し、創造  
館を地域の人から  
親しまれる場にし  
たい」と話してい  
た。

### 羽島市で小学生向け プログラミング教室

#### 岐阜大学教育学部学習 協創開発研究センター

【羽島】岐阜大学教育学部  
部学習協創開発研究センタ  
ーはこのほど、羽島市、文  
深堂、岐阜大学の3者協定  
に基づき、地元小学生を対  
象にした「プログラミング  
体験教室」を開催した。岐  
阜大の学生が講師となり、  
小学生らに分かりやすくプ  
ログラミングの基礎を説



岐阜大学の学生を講師に行った教室

明。その上で、小さなロボ  
ットを動かす体験などを行

自らのプログラミング学習  
を通して学んだほか、体験  
教室を通して基礎的指  
導法の習得を図った。

参加した小学生は大学  
生が設計したプログラ  
ミングを体験し、魅力  
を学んだ。

教室に参加した教師  
は、今後の教材作成の  
参考としていた。文深  
堂は今回の取り組みを  
プログラミング教材に  
対する研究開発活動に  
生かしていく方針だ。

## 小牧市 アーキエナジーなどと バイオガス発電所整備で協定

【小牧】小牧市はこのほ  
ど、アーキエナジー(本社  
東京)、バイオス小牧(本  
社名古屋)と、バイオガ  
ス発電施設の整備などで協  
定を締結した。アーキエナ  
ジーが小牧市下末に建設す  
る「小牧バイオガス発電所」  
で、市は市内から排出され  
る食品廃棄物などを提供  
し、発電燃料として再生す  
る。

同発電所は、アーキエナ  
ジーが約35億円を投じて中  
間処理施設と発電施設の建  
設を計画。着工は2018  
年7月、発電開始は19年7  
月を予定している。



左から植田 小牧市長、  
山下 山田純二社長、  
協定を締結した、  
社長の、  
多田 植田 小牧市長、  
山下 山田純二社長

同市では、市内の食品工  
場、スーパーなどから排出  
される食品廃棄物のほか  
に、し尿処理施設からの脱

水汚泥の処理も依頼し、再  
資源化やごみの減量を進め  
る方針。

「市内から排出す  
る脱水汚泥や給食  
センターの牛乳処  
理などの課題解決  
に向けて協力して  
いく」とあいさつ。  
アーキエナジーの  
植田徹也社長は  
「建設予定の発電  
施設を地域に根ざ  
した事業にした  
い」と話した。

ことが実証されている。  
開所式には、大府市の岡



Eで 各  
後3時  
開催す  
申し込  
1(電話  
8000

## “まずは3年、やってみて

「最初の3年間で勝  
トヨフシ海運社長の高橋徳  
入学など、新しい環境に身  
は3年間、その場所に順応  
だという。「今までと異な  
間関係も刷新される。そん  
年という期間を乗り越えら  
後の人生にとっても重要に  
話す。

「同社では、社員を他  
場合がある。これまで集団  
た中で、いきなり別の会社  
ことになる。孤独を感じる  
橋さんは「他社へ出向させ  
ないよう、フォローしてい  
と話す。月1回は上司が出  
会するとといった対策をと  
でも環境  
フォーマ  
まっこと  
らないよ  
ケースヨ  
がら、社  
ヨンを高  
す。



# ロビー